

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査結果の概要

調査の概要

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 実施日 令和4年5月12日（木）

3 調査の対象 [児童生徒数]

- ・小学校 第4学年～第6学年 [1907名]
- ・中学校 第1学年～第3学年 [1809名]

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

○教科に関する調査

小学校第4学年から中学校第1学年まで [国語、算数・数学]
中学校第2学年及び第3学年 [国語、数学、英語]

○質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

(2) 学校に対する調査

教科に関する調査

[] 内は、県平均値を100としたときの本市の状況

■教科に関する調査の平均正答率■ (太字) は、前年度より県との差が縮まったもの (単位%)

	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	60.4 [97.3]	56.3 [100.2]	63.8 [97.2]	58.6 [99.7]	55.1 [96.5]	55.3 [98.2]
算数 数学	60.4 [95.9]	63.0 [100.0]	57.0 [95.3]	59.1 [102.4]	49.5 [93.9]	55.0 [96.3]
英語					57.7 [97.8]	54.4 [97.3]

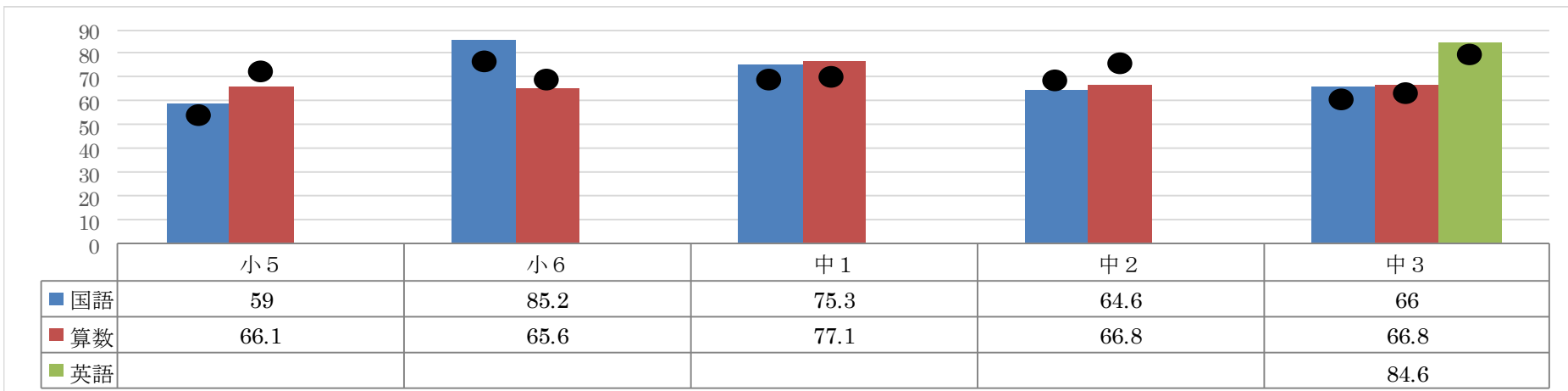
(1) 平均正答率より

- ◇小学校第5学年の国語と算数、中学校第1学年の数学で県平均を上回った。
- ◇国語、算数・数学、英語の全14調査の内10調査で前年度よりも県平均との差が縮まった。

(2) 「学力の伸び」より

- ◇概ね県平均と同等の伸びが見られた。特に、以下の学年・教科においては、県平均を上回っている。
 - ・小学校第5学年国語 ・小学校第6学年国語 ・中学校第1学年国語、数学
 - ・中学校第3学年国語、数学、英語

■前年度から学力が伸びた児童生徒の割合■ (単位%) ●は、県の状況



質問紙調査

■ 「規律ある態度」 ■ ※質問事項は、教育に関する3つの達成目標の内容を抜粋
 ※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 登校時刻	89.1 (88.1)	91.9 (92.1)	93.8 (91.9)	97.7 (98.0)	96.1 (95.2)	96.3 (95.6)
2 授業開始時刻	87.8 (87.7)	90.9 (91.6)	94.2 (95.9)	96.9 (96.1)	97.1 (97.1)	97.6 (97.3)
3 靴そろえ	79.6 (81.0)	82.1 (88.2)	85.5 (87.4)	89.1 (93.2)	89.8 (93.0)	92.3 (96.4)
4 整理整頓	76.2 (76.7)	76.7 (82.2)	79.9 (88.8)	77.1 (81.3)	77.0 (84.9)	80.8 (83.9)
5 あいさつ	75.8 (77.6)	75.6 (77.6)	77.7 (79.2)	81.9 (85.0)	81.7 (79.8)	83.5 (82.1)
6 返事	85.5 (85.1)	85.6 (86.2)	86.1 (83.6)	88.0 (89.3)	86.6 (86.4)	88.3 (89.4)
7 ていねいな言葉づかい	82.3 (81.7)	85.1 (89.2)	87.7 (90.1)	91.2 (90.9)	90.5 (92.4)	92.2 (92.5)
8 優しい言葉づかい	81.8 (83.8)	83.2 (88.6)	83.5 (88.1)	89.3 (91.1)	88.1 (93.0)	88.7 (92.7)
9 学習準備	82.3 (83.3)	84.6 (86.7)	87.2 (89.6)	91.9 (93.3)	91.2 (93.0)	92.5 (94.0)
10 話を聞き発表する	75.1 (73.3)	74.5 (77.1)	74.9 (72.9)	77.2 (76.0)	73.4 (75.7)	76.7 (82.5)
11 集団での態度	81.4 (81.7)	81.9 (84.4)	83.2 (80.0)	92.6 (94.1)	92.5 (95.6)	94.6 (96.7)
12 掃除美化活動	89.2 (89.3)	87.6 (89.4)	86.5 (85.6)	85.8 (88.7)	84.3 (92.2)	85.8 (92.5)

() 内は、県平均値 80.0 は、県・市の目標値(80%)を達成した項目

■ 「学校生活等に関する内容」 ■ ※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 自分には、よいところがあると思う	80.1 (79.9)	78.8 (78.2)	83.3 (77.6)	74.9 (72.7)	78.6 (73.8)	81.5 (75.6)
2 先生は自分のよいところを認めてくれている	89.3 (89.6)	93.1 (91.8)	94.4 (91.9)	94.1 (93.9)	96.1 (93.9)	96.0 (93.0)
3 先生たちは自分の悩みの相談にのってくれる	90.1 (89.7)	91.4 (89.9)	90.9 (88.5)	91.7 (90.8)	95.2 (92.4)	95.0 (90.5)
4 友達は自分のよいところを認めてくれている	88.6 (88.1)	90.8 (90.0)	93.4 (91.2)	95.6 (93.2)	95.5 (93.5)	96.2 (93.9)
5 将来の夢や目標を持っている	83.9 (86.9)	87.1 (87.3)	83.4 (81.9)	83.1 (82.5)	75.5 (72.5)	75.8 (70.1)
6 前学年の学級での生活は楽しかった	92.7 (91.3)	93.4 (90.8)	90.3 (88.8)	90.0 (90.3)	90.9 (91.6)	90.1 (90.5)
7 前の学年での学級は、いろいろな活動にまともに取り組んでいた。	91.6 (90.9)	93.8 (91.8)	93.2 (92.3)	94.2 (93.3)	95.3 (92.8)	94.8 (92.2)
8 住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心がある	77.8 (75.5)	73.9 (72.8)	70.3 (63.5)	68.4 (60.3)	59.4 (46.9)	44.0 (38.4)
9 失敗を恐れなくて挑戦する	79.0 (76.8)	76.8 (77.7)	81.8 (75.3)	80.1 (74.3)	71.8 (66.6)	77.3 (67.3)

() 内は、県平均値 80.0 は、県平均値より高い項目

本庄市の子供の「学力」と「学習意欲等」について ～埼玉県学力・学習状況調査の結果の概要～

教科に関する調査結果から

各教科の調査結果では、全14調査の内3調査で県平均を上回った。学力の伸びは概ね県平均と同等程度であるが、学年によって学習内容の定着に課題が見られる。

◇：よい傾向 ◆：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

【小学校 第4学年】

◆国語「読むこと」に課題が見られる。
⇒内容を整理して読み取る活動を充実させる。

◆算数 どの領域にも課題が見られる。
⇒基礎・基本の定着を図るため、習熟の時間を確保していく。

【小学校 第5学年】

◇国語、算数ともに平均正答率が県平均を上回った。
◇国語 学力を伸ばした児童の割合が県平均を上回った。

【小学校 第6学年】

◆国語「読む」能力に課題が見られる。
⇒内容を整理して読み取る活動を充実させる。
◆算数 どの領域にも課題が見られる。
⇒基礎・基本の定着を図るため、習熟の時間を確保していく。

【中学校 第1学年】

◇国語、数学ともに平均正答率が県平均を上回った。
◇国語、数学ともに学力を伸ばした児童の割合が県平均を上回った。

【中学校 第2学年】

◆国語「読む」能力に課題が見られる。
⇒内容を整理して読み取る活動を充実させる。
◆数学「数と式」「図形」領域に課題が見られる。
⇒習熟の時間の確保やタブレット等の利活用を図る。

【中学校 第3学年】

◇国語・数学・英語 学力を伸ばした生徒の割合が県平均を上回った。
◆国語・数学・英語 平均正答率が県平均を下回った。
⇒本庄型授業スタンダードを基に、学習内容を明確にした授業や、適切な評価を確実に実施し、学習内容の確実な定着を図る。

児童生徒に対する質問紙調査結果から

「規律ある態度」に関するほとんどの項目が、各学年において目標値を達成している。「学校生活等に関する内容」でも、多くの項目で県平均を上回っていて、本市の児童生徒は充実した学校生活を送っていると考えられる。

□：よい傾向 ■：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

【規律ある態度】

— 小学校 —

□36項目中26項目が、県・市の目標値80%を達成している。
■「話を聞き発表する」に関する項目は、全ての学年で目標値を下回っている。
⇒授業だけでなく、学校生活の様々な場面で表現する機会を増やす。
■「あいさつ」に関する項目は、全学年目標値を達成していない。
⇒学級や学年、学校全体であいさつ運動などに取り組んでいくとともに、家庭とも連携協力をしていく。

— 中学校 —

□36項目中31項目が、県・市の目標値80%を達成している。
□「あいさつ」に関する項目は、全学年で目標値を達成している。
■「話を聞き発表する」に関する項目は、全ての学年で目標値を下回っている。
⇒授業だけでなく、学校生活の様々な場面で表現する機会を増やす。

【学校生活等に関する内容】

— 共通 —

□県平均に達していない項目もあるが、県平均とほぼ同等程度の結果となっている。

— 小学校 —

□「前学年の学級での生活は楽しかった」に関する項目は、いずれの学年も県平均を上回り、90%以上である。
⇒様々な教科を通じ、本庄市の歴史や自然について学習する時間を充実させる。

— 中学校 —

□「先生は自分のよいところを認めてくれている」「先生たちは自分の悩みや相談にのってくれる」に関する項目では、いずれの学年も県平均を上回り、90%以上である。

改善に向けた教育委員会の取組

- 学力向上推進委員と協力し、自校における各学年の学力についての実態を分析・把握し、それに応じた手立てや支援を行っていく。
- 調査結果や分析結果を基に、学力を伸ばした効果的な取組を見いだして市内に広めるとともに、指導主事の学校訪問により学力向上の取組を充実させる。

☆
学
力
☆

☆
学
習
意
欲
等
☆